

ニュースの読み方

リスクをより確かなものとするために

内閣府食品安全委員会 委員 野村一正

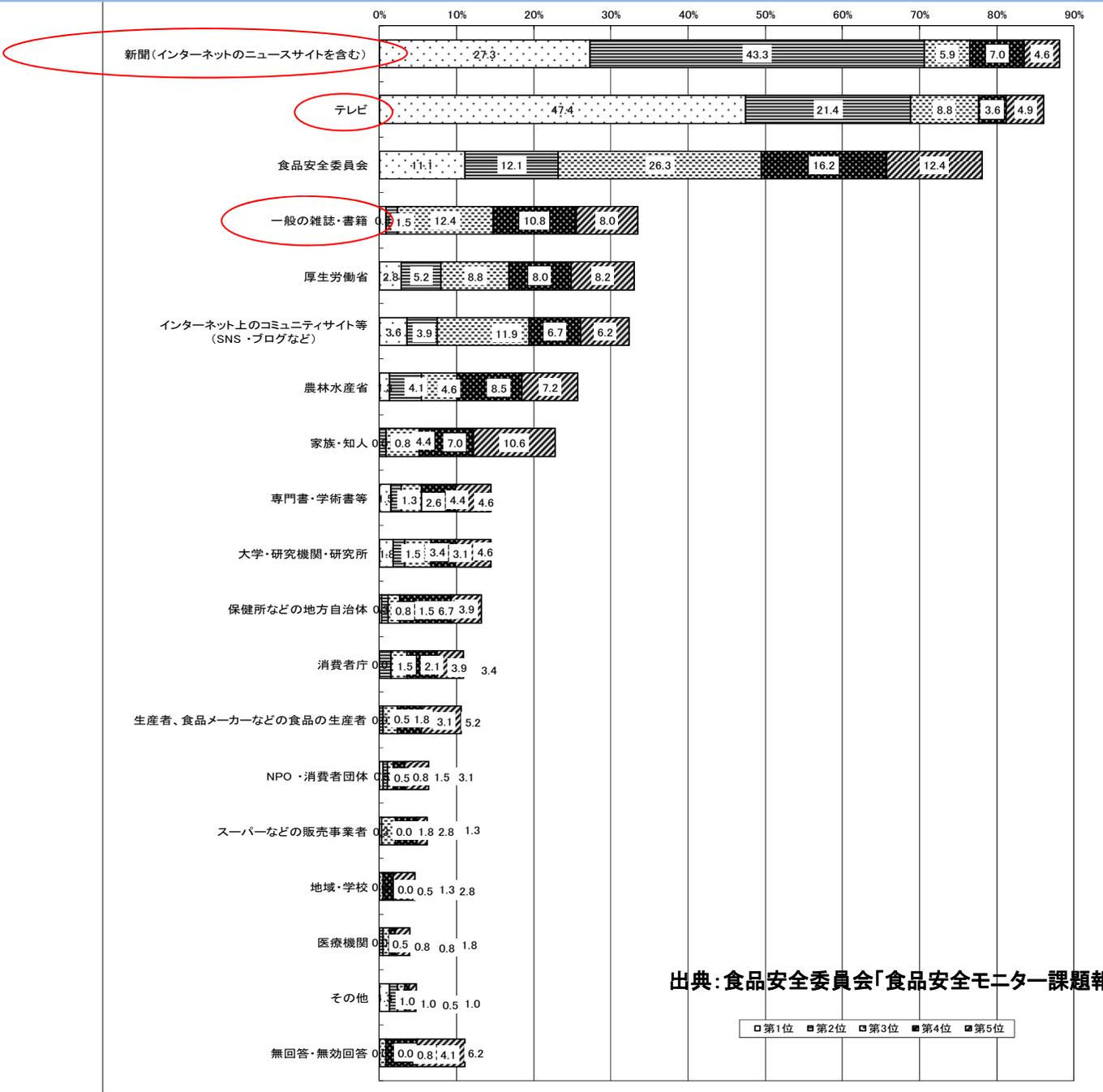
災害など緊急時には

- ①情報に対する需要が増加
- ②反面、情報の供給は減少する傾向
- ③このため、情報の需要と供給にギャップ
- ④このギャップを埋めるために流言が広がる

必要な情報を迅速に提供することが重要

廣井脩(ひろい・おさむ＝社会学者、日本災害情報学会初代会長)氏が著書『うわさと誤報の社会心理』で指摘

食品の安全に関する情報源



出典：食品安全委員会「食品安全モニター課題報告(平成23年8月実施)」

□第1位 □第2位 □第3位 ■第4位 ▨第5位

マスコミの構造と記者の生態 その1

通信社から週刊誌まで、
経済部から社会部まで

多種多様な業界構造と社内構造

ニュースのスピード(速報性)

- 月刊誌
- 週刊誌

- 中央紙
- 地方紙
- 業界紙

- テレビ
- 通信社のニュースサービス

内容の詳しさ



メディア（編集局）の組織（本社）

編集局（出稿部）

編集局デスク

● 政治部

● 経済部

● 社会部

● 内政部（地方部）

● 外信部（外報部）

● 生活部

● 文化部

整理部

校閲部

論説委員・解説委員

編集局以外の部局と編集局

- 編集局を除く主な部署
 - 営業関係
 - 広告局、営業局
 - 管理部門
 - 出版部門
- それぞれの編集局との関係

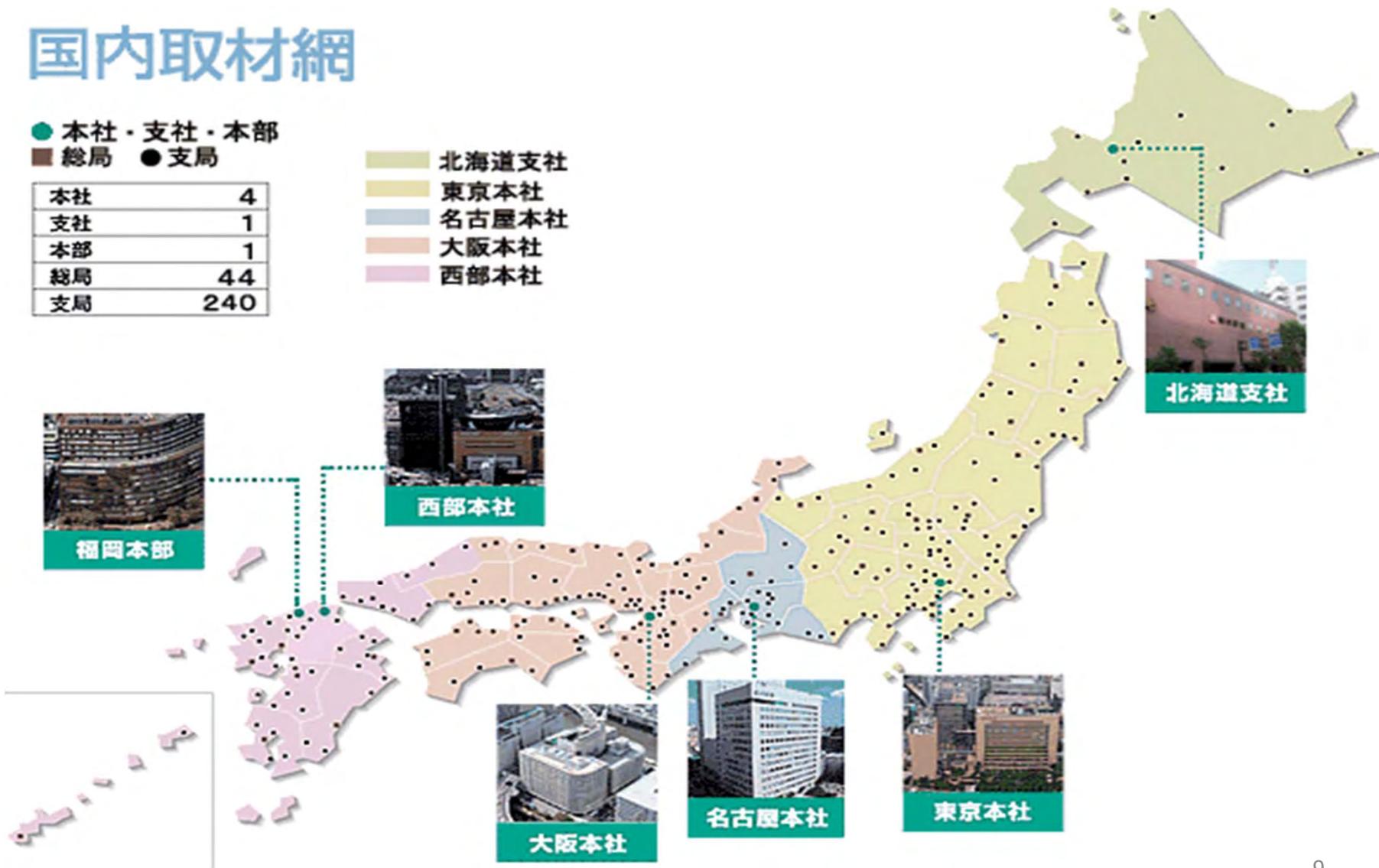
新聞社の国内取材網(地方支局)

国内取材網

● 本社・支社・本部
■ 総局 ● 支局

| | |
|----|-----|
| 本社 | 4 |
| 支社 | 1 |
| 本部 | 1 |
| 総局 | 44 |
| 支局 | 240 |

北海道支社
東京本社
名古屋本社
大阪本社
西部本社



新聞社の海外取材網(海外支局)

海外取材網



マスコミの構造と記者の生態 その2

夜討、朝駆け、記者クラブ

マスコミの最前線、記者の仕事

記者の取材ルートは大きく分けて2通り

1 記者クラブでの発表

ニュースリリース

記者会見

懇談

2 取材

インタビュー

夜回り、朝駆け、箱乗り

👉「特オチ」と「特ダネ」、「誤報」

マスコミの構造と記者の生態 その3

記者は社内で3度戦う

取材とは何？ 記事はどのように作られる？

新聞が完成するまで

記者

- 取材
- 出稿

デスク

- 確認
- 出稿部としての価値判断

整理部

- 確認
- 社内全体の価値判断

編集局デ
スク

- 最終判断

まとめ

- 情報量不足は、デマや流言、根拠のない恐怖心を生む。できる限り正しい情報を、迅速に、充分提供する必要がある。
- マスメディアはもっとも有力な情報源であるが、ニュースを読み解くメディアリテラシーが必要であり、同時に多様な情報源が不可欠。
- リスコミに当たってはこうした配慮が必要であり、さらなる食の安全の確保のためには食品安全モニターの皆さんの協力に負うところが大きい。

ご静聴ありがとうございました

